

知床の窓から見えるもの

2018年7月13日（金曜日）

6月1日より、島根県松江市立病院から、3ヶ月間の研修で診療所に来ている看護師です。平成27年よりスタートした研修も4年目、私で7人目となり「あ〜、松江からね〜。」と声をかけてくださいます。

今年は、6, 7, 8月の北海道ベストシーズンの研修で、特に知床好きの知人や松江のスタッフから羨ましがられました。（皆様には当たり前ですが、旅行したいNO.1北海道ですので!!!）そして、うわさの通り羅臼の魚介類はおいしく、特に、めんめ、ホタテ、牡蠣は絶品でした。温泉もずーっと、体がぼかぼか暖かくて、島根から来て、寒さに弱い私にはとても良かったです。驚いたのは、フレンチドッグになぜか砂糖をつけて食べることでした。

診療所で働き、1ヶ月が経ちましたが、地域包括医療、へき地の救急診療の大変さを実感しました。スタッフ全員で、地域の方々にとって診療所がとても大きな役割を担っていることがわかりました。そしてスタッフが、いつも患者さんへ「大丈夫かい？」という方言での声掛けが、かわいいなと思い癒された1ヶ月でした。

研修もあと2ヶ月となりました。羅臼でしか経験できない看護経験と自然を満喫していきたいと思しますので、よろしくおねがいします。

